

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0176700540		
法人名	有限会社そうせい舎		
事業所名	グループホームあつたか宝来館		
所在地	稚内市宝来2丁目2-19		
自己評価作成日	平成27年8月23日	評価結果市町村受理日	平成27年9月16日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2014_022_kani=true&JigyosyoCd=0176700540-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	タンジエント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1番6号 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成27年9月8日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

あつたか宝来館では、ご本人ご家族が望まれたとき看取りまでケアさせていただきます。ターミナルケアといっても私達スタッフが特別なことをするわけではありません。いつものように話しかけ、好きな物を美味しく食べて頂けるように考え工夫し、体の清潔を保ち整容に努める、といったいつものケアを続けていだけてです。人生の終わりをなじみの場所で穏やかに迎えられるようないつものケアを続けています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<地域の人々との交流及び連携>
 地元高校からの実習生の受け入れや地域の保育園児との交流、町内会主催の津波避難訓練への参加や草取り、花壇作りなどの町内会奉仕活動で地域との協力や連携に取り組んでいる。また、事業所の持つ専門性を活かして地域の困難事例への対応など地域貢献に努めている。
<ターミナルケアの実践>
 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、家族や職員、医療機関関係者とともにチームで支援に取り組む、ターミナルケアを実践している。

V サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取組を自己点検した上で、成果について自己評価します

項目		取組の成果 ↓該当するものに○印		項目		取組の成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向をつかんでいる (参考項目:23、24、25)	○	1 ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらい 3 利用者の1/3くらい 4 ほとんどつかんでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9、10、19)	○	1 ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18、38)	○	1 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2、20)	○	1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1 大いに増えている 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36、37)	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11、12)	○	1 ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30、31)	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1 ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない				

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念を作り、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員個々の介護理念を話し合う事で、現行理念の見直し、浸透を図っている	日常業務やミーティングを通じて介護理念を話し合い、その理念を共有して実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	事業所開設から10年経ち地域の一員としてなじみの関係がきずかれています	地元高校からの実習生の受け入れや地域の保育園児との交流、町内会主催の津波避難訓練への参加や草取り、花壇作りなどの町内会奉仕活動で地域との協力や連携に取り組んでいる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	在宅介護での困り事や入所相談に来られる方もおられ緊急度の高い場合は他施設の紹介をしている		
4	3	○運営推進会議を活かした取組 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ターミナルケアの実施報告やグループホームでの医療行為についての議題で話し合っている。2ヶ月1回の開催は出来ていない	運営推進会議では、ターミナルケアの実践や地域貢献等の具体的内容について話し合い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。今後は、定期的開催できるように委員と協体体制づくりを話し合っている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	毎月の便りを配布し、事業所の実情を伝えている。相談事に訪れたり、主催の研修会には出来るだけ参加するようにしている	市や包括支援センターに事業所の広報誌を配布し、事業所の取り組み等を情報提供している。また、地域ケア会議や定例の研修会参加で協力関係を築くよう努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	指定基準における禁止対象行為を理解し、日常生活のなかでの様々な問題についてはその都度話し合っている。玄関は夜間のみ防犯上施錠しているが日中、夏場では玄関戸も開放している	全ての職員が指定基準における禁止の対象となる具体的な行為を内部研修会開催等で正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	自分がされて嫌なことを利用者さんにすることが些細な事でも虐待になるという意識を持って職員は日々のケアに従事している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	行政職員を代理人に持つ利用者さんもおられ必要性は承知しており、活用できるよう支援している		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	介護報酬改定時など十分な説明を行いご家族等からご理解いただいている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時、家庭訪問時にはご家族に意見、要望をお話して頂けるよう努めている。玄関口に国保連のポスターを貼り外部への窓口を掲示している	定期的な広報誌の発行で健康状態や日常生活の様子など情報提供したり、家族等の来訪時に意見や要望等を言い表せる機会を設け、そこでの意見を運営に反映している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティングや個人面談で職員の意見、提案を聞く機会を設けている	定例のミーティングや個人面談で職員の意見や要望、提案を聞く機会を設け、運営に反映できるように努めている。また、職員の離職率は低く、継続したケアサービスを実施している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は職員個々の努力や実績を把握しており働きがいのある職場づくりへ、環境、条件の整備に努めている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者は職員個々の実際に基づき法人外研修へ派遣している。多岐にわたるテーマで社内研修を実施している		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組をしている	地域ケア研のグループホーム部会へ職員の参加を勧め、同業者との交流、ネットワークづくりに努めている		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	体験利用して頂き本人の望み、ひととなりを知る事で環境が変わって起きる本人の混乱、不安の軽減に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	契約時にする重要事項説明の際にご家族の困りごと、要望等をお聞きしている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	グループホームがどういうところか理解して頂きその上で本人とご家族が必要とする支援を見極め対応している		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	掃除や調理などを一緒にしている。職員の体調をきづかってくれるなど暮らしを共にする者としての関係は築かれている		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入所前には途絶えていた家族との関係もホームからの働き掛けで、面会に来られたり手紙をくれたりと絆がつながり出している		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の希望があれば馴染みの場所への外出支援している。馴染みの方の訪問時には一緒に写真を撮ってお渡ししたり、送り迎えすることもある	畑で苺や豆の収穫や地域の行事参加、外食に出かけたり、観光名所めぐりやドライブなどで馴染みの人や場所との関係が途切れないように支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	少人数の生活なので職員は利用者さん同士の相性を把握しトラブルには速やかに対応するよう努めている。行事は出来るだけ全員参加にし出先での利用者さん同士の交流を図っている		
22		○関係を断ち切らない取組 サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	医療行為が必要となり止む無く退所となった利用者さんの荷物を預かったり、移った施設へご家族と面会に訪れ本人、ご家族の困り事をお聞きしたりと、関係が続くよう支援に努めている		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	言葉での意思表示が出来ない利用者さんでも仕草や表情から本人の意向をくみ取るように努めている	一人ひとりの思いや意向、健康状態を考慮しながら、職員間で共有して本人本位に検討している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前に家族、関係者より生活歴等聞き取りをしている。一緒に生活する中で個人の好みや暮らしぶりを知る事も多い		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個人日誌や連絡ノート、各チェック表を活用し個々の現状の把握に努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月モニタリングを行い、状態の急変などあれば家族、関係者と話し合い介護計画を変更している	本人・家族の意向や要望、医師及び看護師からの指導や助言、毎月のモニタリングで職員の意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画となっている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録は介護計画に沿った記入とし、気づきや工夫、雑感を連絡ノートに書き入れ、職員間の情報共有に努めている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人の状況で訪問診療を申請したり、家族支援にも取り組んでいる		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会の奉仕活動に参加したり、地域の幼稚園の園児との交流があったり、地域資源の活用に努めている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	廃院等やむおえない事情がある以外、入所前からの受診先へは継続して通院して頂いている。	本人や家族の希望するかかりつけ医となっている。また、通院への支援や往診、日常の健康管理で適切な医療を受けられるように支援している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	利用者さんに異変があった時は法人内の看護師に連絡し、直接診てもらい指示をうけている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は毎日面会に訪れ安心して治療できる様心がけている。地域医療連携研修会議に出来るだけ参加し医療との関係づくりを進めている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者とともにチームで支援に取り組んでいる	実際に看取りケアを行っている。ホームのターミナルケアの指針をご家族に説明し、納得頂いた上で支援に取り組んでいる	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、家族や職員、医療機関関係者とともにチームで支援に取り組み、ターミナルケアを実践している。	今後は、利用者すべてのご家族に、ターミナルケアの理解を深めて戴く交流の促進を計画しているの、その実践に期待します。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急救命処置の研修を受けている		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災避難訓練を日勤帯、夜勤帯で実施し全職員が通報、避難誘導を行っている。地区の災害避難訓練に参加し地域との協力体制も築かれている	年2回の火災避難訓練には、地域の人々が参加したり、町内会主催の津波避難訓練への参加などで地域との協力体制を築いている。また、スプリンクラーが設置されている。	

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者さんがどのような状態にあっても個人として尊重し接している。入室の際のノック、声かけを励行している	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉がないように内部研修会開催等を通じて職員間に周知している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	指示や決めつけをせず選択肢を残した問いかけを行い自己決定出来るように働きかけている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望に沿って支援している	おおまかな時間割はあるがその日の個々の思いや体調に沿って過ごして頂いている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	行事のある時などお化粧の手伝いをしたり、着て行く服を一緒に選んだりしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	包丁を使う人、盛り付けをする人、下膳し洗いものをする人と一人ひとりの好みや力で職員と一緒に食事準備、片付けをしている	レストランでの外食やお祭り見物で喫食を楽しむ機会を作っていたり、一人ひとりの好みや力を活かしながら、職員と一緒に食事の準備や片付けをしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの状態に合わせ食べ易い大きさにカットしたりとろみ食にしたりしている。各種の飲み物をいつでも飲めるよう常備している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	自分では出来ない方へはモアブラシや口腔ティッシュを用いて口腔内の清潔保持に努めている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄表から個人のパターンを把握し適時声かけしている。	一人ひとりの力や排泄パターンを排泄表で把握し、トイレで排泄できるように支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	職員は便秘のものもたらず影響を理解し、排便状態により水分摂取や運動への働きかけを行っている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に沿った支援をしている	少なくとも週2回は入浴していただいている。個々の状態によりシャワー浴や2人介助で対応している	入浴時間は決めずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて週2回を目安に入浴が楽しめるように支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その日より夜間眠れていない方へはお昼寝のお誘いをしているが強制してはいない。夜間巡回時は安眠を妨げない様配慮している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	受診ファイルに薬の変更を記入し、職員が把握出来るようにしている。外用薬は処置する時間を決め日勤、夜勤で混乱が起きないようにしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活歴にはあまりこだわらず、今現在利用者さん個々が出来る役割や楽しみごとを提供している		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望に沿って、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	誕生日に観光施設めぐりをしたり外食へ出かけたりしている。受診の帰りにドライブをしたり買い物に寄ったりしている	地元のお祭り見物や観光名所に出かけたり、レストランでの外食やドライブなど戸外へ出かけられるよう支援している。また、地元高校生の実習の受け入れや幼稚園児の慰問で楽しみ事への支援をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ほとんどの利用者さんはお金を所持したり使ったりしていません。お財布をもっていてもしまい場所を忘れてしまう方もおられ必要なものは職員が買いに行っています		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話をかけたり手紙を書くのは敬遠される方が多いですが、職員にかけてもらい長々とお話したり、遠方の娘さんからの手紙を何度も読み返したりしています		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	夏は湿度、冬は乾燥に気を使っています	共用空間では季節ごとの飾り付け等で生活感や季節感を採り入れて、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。また、利用者にとって気になる臭いや音の大きさ、光の強さは感じられない。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	如何せん狭いスペースなので特に工夫などしていないが利用者さん同士でなんとなくその人の場所と決めている。各々そこでくつろいでいます		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	花が好きな方は花を育てています。始終模様替えをしている方もいます。職員は本人から手伝いを頼まれてから手伝っています	居室は、本人の希望を採り入れた模様替えを行ったり、好みの花が飾られるなど本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室の表札は○○さんのお家となっていてご自分の家生活の場であることを理解して頂きたいと思っています。2Fにあるので階段を下りて行ってしまう方もいます。職員の見守りが欠かせません		

目標達成計画

グループホームあつたか宝来館

作成日：平成 27 年 9 月 9 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組内容	目標達成に要する期間
1	33	重度化された利用者さんのご家族以外にはターミナルケアの趣旨、内容を詳しくお伝えしていない	家族、職員が共通の思いですすめるターミナルケア。	利用者ご家族へのターミナルケアについてご理解を求める。職員、ご家族との交流をより深めるための場づくり	6ヶ月
2					
3					
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入してください。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加してください。